



中津 伸一 議員

## 役場の組織を見直せないか

山田町長／行政機構改革検討委員会を設置した

**中津** 現状のグループ制を今後も推進していくのですか。

また、見直すのであれば、どういう組織にするのですか。

**町長** グループ制は、一定の成果をあげているものと考えています。

ただし、導入から今年で6年目を迎えていることから、10月に行政機構改革検討委員会

を設置してグループごとに話し合いを持ち、組織の評価を行っているところです。

今後は取りまとめられた内容を基に、年度末までに検討委員会から答申が出される予定ですが、より質の高い行政サービスの提供をはかることができる組織づくりを目指したいと考えています。

## 耕作放棄地の利活用を考えよ

山田町長／早期に解消に取り組みたい

**中津** 耕作放棄地の面積はどのくらいあるのですか。

また、これらの利活用について、考える時期にきているのではないですか。

**町長** 現在、耕作放棄地と確認された面積は、広野町の経営

耕地面積452ヘクタールのうち約78ヘクタールで、全体の17・3パーセントにあたり

ます。耕作放棄地は景観を損なうだけでなく、病虫害の温床となるなど、近隣の農作物への被害が懸念されることから、その解消に早期

に取り組まなければなりません。解消にあたっては、国庫補助事業を活用しながら、作付け可能地への復元をはかるとともに、その活用についても検討していきます。



耕作放棄地となった農地

# 結婚を考える男女に出会いの場を

山田町長／広域的な対応を検討したい



教会で永遠の愛を誓う2人



門馬 巧 議員

**門馬**

昨今、一番身近な問題として、

結婚を望んでいるにもかかわらず、相手との出会いがなかなか叶わず、結婚できずにいる男女が多くなります。

本町で対象となる男女の実数は把握できないでしょうが、私の居住する上北地区に限って数えてみますと、男女合わせて約20人の方々がおいでで、その家族構成等を推察しますと、年離れた両親、あるいは片親のみ、または本人のみと様様はさまざまです。

この状態がそのまま続くのであれば、残念

ながら、いずれはお家の断絶、果ては地区の崩壊へと進み、行き着くところ、町勢の衰退へと負の連鎖につながってしまうのではないのでしょうか。

一朝一夕に解決することは難しいであろうこの問題について、本町のみならず、広域的な視点で取り組むべきではないですか。

**町長**

本町におきましても、未婚者が

多く、解消に向けて取り組まなければならないものと考えています。

過去に農業後継者を対象として、郡内で取り組んだこともありましたが、あまり効果が上がりませんでした。

しかし、未婚者が増加している状況にあることから、今後は広域的な対応についても検討していきたいと考えています。